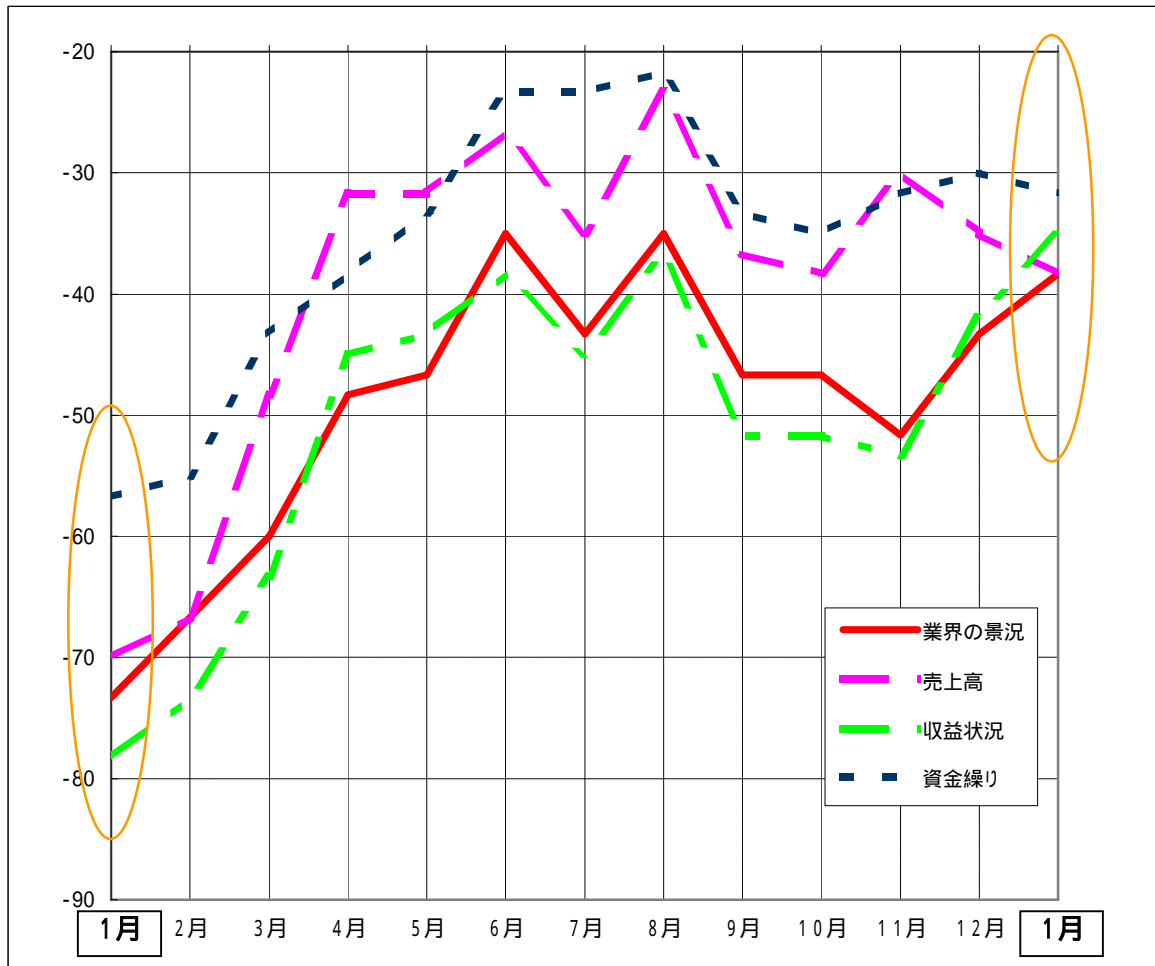


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年1月～平成23年1月

単位:ポイント



	H22												H23
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3
売上高	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3
収益状況	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0
資金繰り	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7

1月のDI値は前年同月に比べ、全項目が改善され、これで13ヶ月連続で全項目改善となった。「業界の景況」DI値は35ポイント、「売上高」DI値は31.7ポイント、「収益状況」DI値は43.3ポイント、「資金繰り」DI値は25ポイントとそれぞれ改善した。前月比で見ると、「業界の景況」は5ポイント、「収益状況」は6.7ポイント改善したが、「売上高」は3.3ポイント、「資金繰り」は1.7ポイント悪化した。製造業では、円高の影響もあり製品単価の下落傾向、原材料費の上昇傾向が、非製造業では降雪に伴う需要・売上の減少傾向が続いている。総じて、先行きの見通しが立たないという声が増え続けている。

組合の特記事項からは、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業では、製品単価や原材料費の変動により、生産活動が低下しているという声、非製造業では商店街を中心に、降雪、天候不順の影響により客数、売上が減少しているという声が多い。